

特定非営利活動法人 太陽と緑の会

# かわら版

巻頭コラム 杉浦 良 /お知らせ

投稿コーナー 田所 健太郎

2003 体験ボランティア報告／協力者名簿

NPO フォーラム案内／編集後記

2003 09 NO 101

## 巻頭コラム「わたしが『私』であるために②」(杉浦 良)

「あのナ。。。私がパニックにならんのは、おかしいと。。。言うんヨ！」Sさんが神妙な顔をして、私に訴えかけるような目で話しかけてきました。私たちの作業所に来て2年10ヶ月の間、さつきまで落ち着いていたと思ったら、何かのきっかけで感情のバランスが崩れてしまい、ワーウーと泣き叫びながら、パニックに陥ってしまっていたSさんが、どういうわけかこの2ヶ月ほどそのパニックが無いばかりか、特別功労賞や皆勤賞までもらうようになった事に不審がる？Tさんの言葉に反応しました。

「そうやなあ。。。みんなどこかで同じこと感じているんと違うん？ようパニックになって、事務所や作業場で加藤さんや三木さんに掴みかかっていつとつたしなあ。。。」

わしも泣き叫んでドイっと出て行ってしまうあんたを、ようおっかけさせてもらつたし、後ろから羽交い絞めをさせてもらったお陰で、歳とともに衰えつつある腕力まで、鍛えさせてもらえたからなあ。。。」

「。。。自分でもよう判らんのやけど。。。Tさんの事で頭にきて、Tさんにワーッと、むしゃくしゃした自分の気持ちをいっぱい言えたら、なんか急に気持ちがスーとして楽になって。。。今までやつたら、絶対パニックになつとつたなあ。。。」

「そらたいしたもんや！今までどこかで良い子ちゃんにならんといかんと思つとつた心の中のブレーキが、その時は外れたんやなあ。。。外してくれたTさんに感謝せんとあかんと違うん。でもむしゃくしゃした気持ちを、よう言葉にできたもんやなあ。。。」

「。。。なんかヤケクソでワーッとなつて。。。」

何をいったか自分で判らんけど。。。言えたんヨ！。。。なに言ってもいいわと思えたんヨ！。。。後は知らんと思えて。。。ヤケクソで言えたんヨ！。。。」

.....  
....

「ここのメンバーの中で、いじめられてこなかつた人はいますか？」「ここのメンバーの中で、ゴク潰しと言われなかつた人はいますか？」「ここのメンバーの中で、役立たずと言われなかつた人はいますか？」「ここのメンバーの中で。。。生まれてこなかつたほうが良かったと言われなかつた人はいますか？」。。。」「みんなどこかに思い当たる所が沢山あるよネ。。。どこか痛みとなって、心の端にへばり付いている悲しみみたいなものがあるよネ。。。」。。。」「たぶん、



絵、岡田さん

Sさんは、自分がこの世の中に生まれてきてはいけないんじゃないかと・・・どこかで感じてしまっていて・・・自分の足で立つことの自信が持てなくて・・・もうどうにでもなってしまえ!・・・と頭のどこから聞こえてくる声に・・・自分が自分でいられなくなりそうな時・・・ワーと叫んでしまうんじゃないかと思うんだけど・・・」  
・・・そう私が書いて、2年半が過ぎました。微かな希望の光が、現れては消える日々が続きました。階段を一段一段、登っては、突き落とされる事に耐えられなくなり、赤剥けた心がヒリヒリと震える時、『もうダメかもしね』という言葉が脳裏をよぎりました。

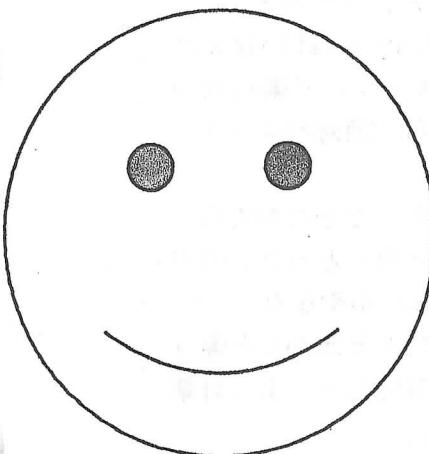
『なぜ おんなことほざいた どうした その気持ち 「大人はうそつき」 軽々しく 唾を吐くように 僕は、ほざいて 人をさげすんだ おれなのに なぜか ほっとけなかつた おいそこの女 おもえに 告ぐ 中にはさバカでどうしようもない けれど嘘はつかない大人も いることを おまえの事思ってくれる そう バカみてに 腹の底から思ってくれる奴 ここおるから なにも出来ないけど 必ず居るから そへんのところよろしく』

そんな風に、一遍の詩に想いが書けたメンバ一達に支えられ、私の中の絶望や虚無がポロボロとはがれることで、この『今』という瞬間を迎えられる、『細い希望の光』に巡りあうことができました。本当に有難いことです。

## 無題

米田 太

フレーフレー人生  
フレーフレー元気  
フレーフレー人生  
フレーフレー元気今日もたくましく  
フレーフレー人生  
フレーフレー元気  
その笑顔が  
フレーフレー人生  
フレーフレー笑顔  
その元気が  
フレーフレー人生  
フレーフレー元気  
何度も誰かの勇気生れたのだろう  
フレーフレー人生  
フレーフレー元気  
大丈夫 あなたには  
フレーフレー人生  
フレーフレー元気  
自分信じてさあ  
あなたの心に生きてるから  
だから大丈夫



# お知らせ

## 見学 実習

● 9月2日、愛媛県東予市より、福祉課職員6名、福祉施設関係者及びボランティア24名、合わせて30名の方が視察研修のために来所。太陽と緑の会リサイクル作業所及び月の宮作業所を見学されました。当会代表の杉浦を含む3名が活動内容の説明をさせて頂きました。

観光バスで高速道路を2時間走らせて来られたとのことで、勉強熱心な方が多く、クーラーもない中、運営面の課題やリサイクルの現状、沿革など、様々なご質問を頂きました。

当会にはいろいろな方が見学に来られますが、行政職員の方が見学に来られることはめったになく、それも他県からということで、大変有難いことと思いました。

● 9月2日、4日の2日間、地元の国府中学校（徳島市国府町）から、泊さん、丸尾さんの2人が太陽と緑の会リサイクル作業所での体験実習に参加。古紙や不燃物の積み込み 搬入、不用品の回収などを体験して頂きました。真夏の日差しが照りつける中、汗だくなつて作業に取り組んで下さいました。お疲れ様でした。

## 講演 会議

● 7月3日午後1時～4時20分、徳島市内で徳島県精神障害者家族会連合会の定期総会が開催、当会から専任職員の小山が出席。合わせて、太陽と緑の会福祉事業団から同連合会に

3万円の助成（カンパ）をさせて頂きました。

● 7月13日、午後1時～5時、徳島市内のふれあい健康館にて、NPO連絡会議及びNPOフォーラム実行委員会が開催。県内のNPO関係者及び徳島大学の先生方、約25名が出席。太陽と緑の会からは専任職員の小山が出席。

● 8月1日、当会代表の杉浦が国府養護学校（徳島市）にて講演を行い（約100名の先生が参加）、太陽と緑の会における障害者地域福祉活動についてお話を頂きました。講演後、8名の方が、当会の月の宮作業所、リサイクル作業所を見学に来られました。

● 9月21日午後1時半より4時半まで、NPO連絡会議及びNPOフォーラム実行委員会が徳島大学教育棟5階にて開催。当会からは専任職員の木村が参加。11月8日、9日に開催される第3回NPOフォーラムに向けて、プログラム内容の詰め、及び役割分担について話し合いました。

## 出来事いろいろ

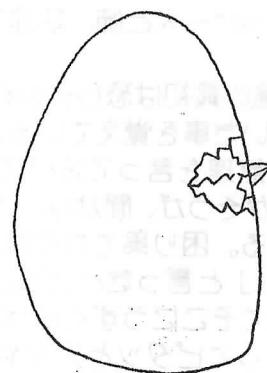
● 青年長期ボランティアとして今年の4月1日から活動してくれている田崎君が、おしゃれな古着を集めたコーナーを作りました。今時の若い人に人気のジーンズやシャツがずらりと並んでいます。古着のことを語らせたら止まらない田崎君のセンスと「東京の古着価格の半額」という価格の安さに、

早くも固定ファンが出来つつあります。

古着に関心のある方、一度ご覧になってみてはいかが？

● 7月27日、第6回徳島ひょうたん島川祭りが開催され、太陽と緑の会から田崎君とメンバーの工藤君が、新町川沿いにあるしんまちボードウォークのパラソルショップに出店しました。衣料品、雑貨類などを持って行き、太陽と緑の会の活動のアピールも合わせて行いました。

可能性



ひよこが産まれる

## 近藤先生を偲ぶ

NPO法人太陽と緑の会

理事 田所健太郎

今回よりインタビュー記録等を手がかりに先生の姿に近づいてみようと思う。

1981年、春頃であったろうか。先生は突然の心臓発作に見舞われ、生命の危機に直面する。この時、先生の貴重な体験や考えが失われる事を危惧した柳沢監督(前回参照)のアドバイスを得て聞き取りを行った。そのテープを会の仲間達が手分けして起こしてくれたのが、この記録である。先生の回復により危機感も去り、作業はここで終了し、20余年の歳月を経てテープは所在不明、先生は既に故人となつた。他の資料や関係者の証言で補える部分以外は不備、不足を埋める術は無いので、不満は承知でこの記録を用いる事にしたい。今回の原稿の題からすると、先生の業績やエピソードを若干紹介して終わりでも良さそうだし、大事にならずに済むのだけれど、やっぱり生い立ちから書いた方が先生がどんな人で、どこに出発点があるのか少しでも分かってもらえるだろうし、時代背景から「何故リサイクルが月の宮に足場を置いているのか。」等と言う事まで含めて想像していただけるのではないだろうか。省略、編集した部分が有ることを予めお断りして、ご紹介したい。

誕生～小学校年時代。

大正5年10月、入田町生まれ。父は医師、兄弟は兄が一人と姉、妹達であった。

「記憶の最初は恐らくあれは4才位で大声で泣いていた事を覚えている。土間に面した部屋の所で無理を言って泣いていた。なだめようが、すかそうが、聞かないで泣いていたような気がする。困り果てた母親が、「何が怖い物が来るぞ。」と言ったところが、本当に何かが入って来てそこにうずくまつたように思って、びっくりしてピタッと泣きやんだ事を覚えている。それが僕の記憶の一一番最初だな。

随分我まだったらしい。女兄弟ばかりでね。兄が一人居たけれど、男が久しぶりに出来た物だから特別にしてくれたんだなあ。

そういう思い出が一つと、鮎喰川へ入って泳いだ事で、これは小学校1年生前後の事で10人位の子供と一緒に、初めて水に入って目を開けて見たら水面が頭より上にあって、「あはれるかなあ。」と思ったのを覚えているが…。

子供の時は学校から帰つたら、川へ行くか山(現在の月の宮ゴルフ場)へ行くかで、山は格好の遊び場で秋は草を探り、春は蕨(わらび)を探る。小さな小川が有つてそこで魚をとる。本当に自然に恵まれた生活をしたね。今の子にはそんな楽しみは無いね。

(以下次号) 田所記

## 近藤文雄氏の横顔

大正5年(1916)年徳島市生まれ。九州帝国大学医学部卒業。東京大学医学部整形外科入局。国立玉浦療養所長、東北大学医学部助教授を経て、昭和35年国立西多賀療養所長になる。筋ジス患者収容開始(全国初)。昭和45年国立療養所を辞し、筋ジス研究所設立運動を開始。徳島にて近藤整形外科医院を開業。昭和46年太陽と緑の会(任意団体)設立。昭和48年国会講演、首相陳情。昭和53年神經センターが東京に創設される。昭和54年より徳島県心身障害者福祉会理事長を務め、平成10年3月11日寂。

### お詫びと訂正

前号(100号)の田所健太郎氏の本文にてミス入力がありましたので、お詫びと訂正を致します。

### 前回100号 P.4

左 20行目 映画は病院長職にあつた→映画は先生が病院長職にあつた

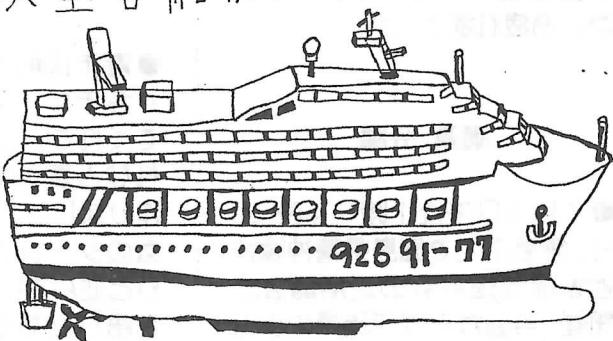
右 4行目 信愛と信頼の→親愛と信頼の

右 22行目 何足のわらじ→何足ものわらじ

右 24行目 どこがどう違うのか→どこがどう偉いのか

以上 訂正します

## 大型客船カーニバル・コングレス



絵 喜彦

## 体験ボランティア 2003 報告

8月21日（木）～8月26日（火）に渡り「体験ボランティア 2003」を行いました。名古屋、京都、徳島から、20代から50代（！）までの計4名の方々（以下ワーカー）が、当会の様々なハンディを持ったメンバーと共に、無農薬農作業 リサイクル活動、そして月の宮生活棟での生態系にやさしい生活を体験しました。

### 1. 日程

昨年と同様、7月実施のコースはニーズが少ないだろうと判断し、8月実施のコースのみとしました。

### 2. 広報

新聞、大学、地元タウン誌にご協力いただきました。昨年と同様、太陽と緑の会のウェブサイトから参加申込書をダウンロードできるようにしました。広報準備が例年より遅かった点が反省材料として挙げられます。

### 3. ボランティアワーク

\*生活ワークの廃止 食事準備や掃除 洗濯をする生活ワークを昨年までは導入していましたが、これをなくし、農作業 リサイクルワークを十分体験できるようにしました。「ハードだった」という声もありましたが、十二分にボランティアワークに取り組んで頂けたのではないかと思います。

### \*月の宮ワーク

暑い中での農作業（畑の草刈り、石拾い、堆肥まき、収穫、ジャガイモ植付け）となりましたが、人数の少ない中、ワーカーさんに頑張って頂いたおかげで予定していた作業を一通り進めて行くことができました。また、生活棟の排水池周囲の杭とロープの交換作業も体験して頂きました。

### \*リサイクルワーク

当会の日常活動である、不用品の回収から品物があ店に並ぶまでの作業を体験して頂きました。今年はワーカーさんの参加人数が少なく、2日間一人ずつの参加となりました。短い時間でしたが、可燃、不燃物や古紙の積込や搬入など普段では関われない事も体験して頂けました。再利用の難しさや大変さ、リサイクル活動の現実も体験して頂けたのではないかと思います。

### \*自転車ワーク

市民の方から提供された自転車や、引き取り手がなく廃棄処分となつた徳島市の放置自転車を、

修理 整備し、磨いて、リサイクル自転車として再生させる自転車ワークにも参加して頂けました。「一所懸命自転車を磨いたらこんなにキレイになるなんて思っていなかつた。帰つたら自分の自転車を磨こうと思う」というワーカーさんの声を聞いて、いつも自転車作業をしているメンバーもうれしそうでした。

### 4. エコライフ

ワーカーさんには月の宮生活棟で宿泊をして頂き、生活排水 汚水をそのまま川に流さずに、ふん尿はバクテリアで分解して畑へ返す自然循環型の生活を実際に体験して頂きました。

### 5. お別れ会

最後のお別れ会もワーカー メンバーとも大いに盛り上ることができました。今年7回目でおなじみになったスリーステージ改め「ハートビーツ」さん、一昨年、昨年に続いての参加となるアフリカンドラムバンド「ハリケーンジャック」さん。更に今年は徳島新聞の記者の方々によるバンドにも参加して頂くことができました。

### 6. メンバーについて

ワーカーさんに作業に参加して頂くことで、いつもとは違う雰囲気の中で作業ができ、その中でメンバーがいきいきとする表情を見る事ができました。月の宮ワークでは、日頃作業を持続できないメンバー、集中できないメンバーが、汗を流して草刈に取り組む姿がありました。リサイクルワークでは、ワーカーさんの参加が少なく、メンバーは共同作業の機会があまりありませんでした。そんな中でも、作業を手伝あうとひよっこりと現れたワーカーさんに、照れくさそうに自分がいつもしている作業を教えてくれたり、率先して作業を引っ張ってくれました。体験ボランティア初参加のメンバーは、先輩メンバーにあれこれ教えられながら、慣れない月の宮ワークや生活棟での宿泊を無事乗り越えることが出来ました。

### 7. 最後に

プログラムに至らないところもあったとは思いますが、特に大きな事故、ケガもなくなんとか体験ボランティアを終えることが出来て、ホッとしています。

体験ボランティア事業の開催に当たり多くの方々から多大なご支援、ご協力を頂きました。この場を借りてお礼を申し上げたいと思います。

太陽と緑の会の活動を支えて下さっている皆様

§ 2003年7月1日～8月31日+4月1日～6月31日徳島市内持込 §（紙面の都合上、敬称は省略させていただきます）  
不用品を持込込んで下さる有り難う

不用品を回収させて頂いた

◎徳島市○岡田、あいざとパティオ、船津、鳥井、わたベスポーツサイクル、佐光、粟飯原、横井、今井、三木、平岡、久米、鳥井、原田、藤永、武市、溝杭、諏訪神社、谷沢、武田、西条産婦人科、藤田、柴、北村、平山、佐藤、カットサロン岸本、坂東、武田、猪俣、西原、横田、国本、阿部、孔明館、粟飯原、寺内、長落、リバレインマンション、堀、城西病院、東条商店、馬瀬、平松、中原、Dコム、金野、高木、元木、手作りサロンふなば、村澤、末広ポール、溝杭、山出、斎藤、角宮、助任小学校、神崎、佐藤、日の出工業、辻井、松岡、金沢ガラス、マルホ原色、谷口、花岡、阿部、武田、山本、赤澤、武房、森西、勝瀬、浜田、岩佐、武田、広瀬、佐藤、蔵本、平賀、木原、ダイヤ事務、神崎、姫路、近藤、山出、内浜、藤川、久安、日浦、中、元木、鮎会衣料品、近藤内科病院、内田、山田、浜、酒井、平尾、吉田、福永、金野、遠藤、青木、毛利、成瀬、山田、浜田、竹中元木、佐野、谷崎、鈴木、原口、富岡医院、中山、長瀬、入田幼稚園、住友、板東、井内、田中、片山、ふじよし株、生田、筒井、小林、矢野、藤井、広岡、香都巳、南部、竹中、五島、鎌田そろばん塾、森田、松浦、青木米穀店、後藤田、丸宮、佐藤、手塚、北川○石井町○寺沢、先田、川西、友成、茶園○鳴島町○阿部○藍住町○福本、平島、日下、蔭山、中川、棚田○鳴門市○寺田、中川、米田、黒田、秋山、大橋、岩井、久龍、正木○北島町○加集、森岡、セシール美容室、結城、中藤、雑賀○松茂町○やすべえ

寄付して下さった方々

◎徳島市○三好 ¥20000、環境改善支援事業AAA ¥3000、匿名 ¥1000、木原 1000、日下 ¥500、東崎 ¥1000、○鳴門市○米田 ¥3000

# とくしまNPO フォーラム 2003

2003. 11/8 (土)・9 (日)

会 場：徳島大学（常三島キャンパス）

開催テーマ：「市民活動の地域力を向上するために」

## 参加申込のお問い合わせ先

### とくしまNPO連絡会議

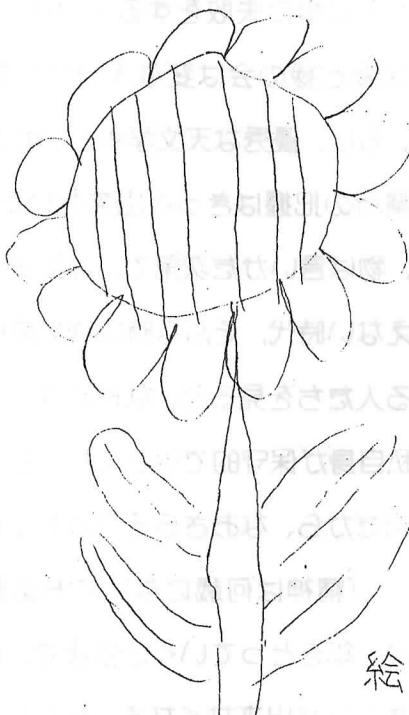
事務局：島、田中、山岡、種倉

〒770-0802 徳島市吉野本町2丁目4-2

Tel : 088-653-5286

Fax : 088-655-0875

E-Mail : shima47@mandala.ne.jp



絵 田村君

主催/とくしまNPOフォーラム実行委員会(とくしまNPO連絡会議)

共催(予定)/とくしま県民活動アーガ、徳島大学、徳島県社会福祉協議会

後援(予定)/徳島県、徳島市、NHK徳島放送局、徳島新聞社、徳島商工会議所、徳島青年会議所

※ホームページ『TONPO(<http://www.jci-tn.jp/tonpo>)』もご覧ください。

## 編集後記

### 一、二、三、四、五、六、あれ？八

太陽と緑の会の日常は天然ボケのスタッフとメンバー、そうではない人？も含め、大体はチグハグ、無秩序、無道徳の中で進んでいく。ガラガラ声で話す鼻息の荒い某女性スタッフ、いい年していまだに赤ちゃん言葉が抜けないスタッフ、平気でおならとゲップを繰り返す某メンバー、素適なダミ声で異性を口説こうとするが、いつも見事に失敗をするメンバーなど、とにかく太陽と緑の会は変な人たちの集合体でもある。もし、優秀な天文学者がいたとしても、当作業所の把握はきっと出来ないだろう。

しかし、物は言い方た次第で、このデフレで明日の見えない時代、そんな時に逆に前向きに生きている人たちを見ると、なぜかほっとしてしまう。私自身が保守的でシユミレーション先行型の人間だから、なおさらそうかもしれない。

チャレンジ精神は何歳になっても必要かもしれないが、年をとっていくと今まで、普通に出来ていたことが出来なくなる。そんなことも考えながら、まだまだ出来る範囲内で、何かをやれないのか、肉体は衰えているかもしれないけど、その分、今まで培ってきた、経験と知識は残っているじゃないか。と前進的な発想を自分に言い聞かせ、なんとか、老体に鞭を打ちながらも頑張れている。

文 白石

くわうちさんとの回収（くわあんと  
5月からスタッフとなつだくわうちさ  
んど、回収に行ったり、坂の所の花ちうえを  
したリいろいろしました。毎日、午前、午後  
、回収に行ったり、放置自転車を、とりに行  
つたり、しました。くわちゃんは、とつても  
歌がうまく、私は、へたで、ところどころし  
くわちゃんにおしえてほしいと思いま  
が、おぼえてしまいました。いろんなうにを  
くわちゃんにおしえてほしいと思いま  
す。

### 特定非営利活動法人 太陽と緑の会

太陽と緑の会は、人も物も活かされる社会の実現を図るため、リサイクル活動、障害者の自立支援、ボランティア育成、及び国内外の各分野で活動する個人 団体との連携 協力などに関する事業を有機的に行い、もって社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする「特定非営利活動法人」です。

リサイクル文化社会を創りつつ、そこが障害を持つ人々の働く生きがいの場とに国内外の団体等を支援する、という有機的な活動を目指しています。

### 発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島県徳島市国府町南岩延字小原 107-1

TEL 088-643-1054

FAX 088-642-1054

URL <http://www2.ocn.ne.jp/~t-midori/index.htm>

代表理事 杉浦 良 編集 白石 隆信

編集サポート（協力者名簿入力）木村 有理子

年会費：正会員 10,000 円 準会員 1,000 円

郵便振替口座：01620-8-44703

※この機関誌は再生紙を使用しています。